

上越地域における在宅医療連携に関する実態
調査結果および平成25～27年度上越地域在
宅医療連携協議会取組みから考える

「上越地域の在宅医療の今後」



さて、上越地域での 在宅医療推進の現状は？

平成25年5月 上越地域在宅医療連携協議会の発足

平成25～27年 協議会での検討 実態調査（財

目指すところ

- ・ 介護が必要になっても安心して生活できる！
- ・ 本人、家族が望めば在宅で看取りができる！
- ・ 医療職、介護職が連携してサポートできる！



I 病院の退院支援の充実

- ①入院中からのかかりつけ医、地域スタッフとの連携
- ②退院前カンファレンス
関係者間で方向性の共有
- ③在宅サービスや福祉用具等の準備
- ④介護保険等各種手続き



退院後の生活
のイメージが
できる！！

Ⅱ チーム体制による在宅医療

医療職と介護職の連携

- * かかりつけ医を中心としたチーム医療
- * 訪問歯科診療や訪問口腔ケアの利用
- * 薬剤師の在宅訪問の利用 など



多職種の支援で質の高い在宅生活が送れます！！

Ⅲ 市民が選択する在宅医療

- ①医療・介護に関する知識や情報を得る
- ②ケア・看取りが必要になった時の自分の意思をもつ
- ③見守り・支え合いのできる地域づくりなど



本人・家族の自己
決定と周囲の支援
がカギ！

最後に

上越地域の安心して過ごせる
「在宅医療・介護体制」は
市民・医療・介護・福祉の
関係者が共に
理解し合い、育てていくもの



新潟県宣伝課長
トッキッキ